

開かれた議会を目指して
～令和7年度 議会報告会・意見交換会～

【報告書】

1	議会報告会・意見交換会の概要	P 1		
2	テーマ別報告書	P 2	～	P 12
3	参加者アンケートの集計結果	P 13	～	P 17

太田市議会

議会報告会・意見交換会実行委員会

1 議会報告会・意見交換会の概要

- (1) 主 催 太田市議会
- (2) 日 時 令和8年1月17日(土) 午後1時30分～午後3時
- (3) 会 場 太田市役所
- (4) テー マ
- ① シティプロモーションについて
 - ② 文化・芸術振興について
 - ③ 健康寿命の延伸について
 - ④ 太田市の観光戦略について
- (5) 参加者数
- ① シティプロモーションについて 20名
 - ② 文化・芸術振興について 15名
 - ③ 健康寿命の延伸について 22名
 - ④ 太田市の観光戦略について 21名
- (6) 次 第
- 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 テーマごとに各会場にわかれて写真撮影
 - 4 テーマごとに各テーブルにわかれて意見交換
 - ・自己紹介
 - ・意見交換
 - ・まとめ、発表
 - 5 閉 会

※ 意見交換会を中心としたため、書面の配付をもって議会報告に代えさせていただきました。意見交換会は、議員と市民が少人数のグループに分かれて自由に意見を出し合う、グループディスカッション方式で実施しました。

2 テーマ別報告書

「シティプロモーションについて」

～教えて！我がまち自慢！～

■サブテーマ

- ① 本市の魅力について
- ② 情報発信について
- ③ ブランド力について

■参加議員

【司会進行】長正祐

【Aテーブル】◎大川陽一 青木雅浩 大川敬道 長正祐（委員長）

【Bテーブル】◎町田正行 星野一広 仁藤すぐる 川岸靖隆（副委員長）

※ ◎はテーブルリーダー

■参加者からの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

【Aテーブル】

① 本市の魅力について

- ・都心まで2時間程度で行ける田舎として立地が良い
- ・群馬クレインサンダーズが本拠地としている
- ・歴史好きには、天神山古墳、徳川や新田義貞関連はじめ、多くの名所や史跡がある
- ・SUBARUがあり、製造業をはじめとした工場が多くあるため働く場所の選択肢がある
- ・大型ショッピングモールがある
- ・スポレク祭など、規模の大きいイベントがあること
- ・子育て支援が充実している

② 情報発信について

- ・広報やインスタでは、まず閲覧者が見たいと思うような作り方が大切
- ・SNS発信でも、若者だけではなく各世代向けに情報発信する
- ・TV番組の誘致
- ・デジタル化だけではなく、アナログ発信の強化も並行する
- ・ターゲットを決めた情報発信の実施

③ ブランド力について

- ・太田の歴史や食を満喫できるような、おすすめコースづくりとバスの運行
- ・「おおた焼きそば」の定義づけ
- ・オモウマイ店ツアー
- ・美術館図書館を推していく、芸術のまちづくり

【Bテーブル】

① 本市の魅力について

- ・TV番組で人気になっている焼きそば屋がある
- ・桂甲武人埴輪が発掘された地
- ・神社仏閣が多くある
- ・スネークセンター、三日月村といった特徴的な施設がある
- ・駅前に美術館図書館がありカフェもあるため人が集まれるところとなってる
- ・お土産に大和芋が喜ばれる
- ・野菜をはじめ、新鮮な食材が豊富
- ・他人にやさしい市民が多い
- ・DEEPなところがありおもしろい
- ・オープンハウスアリーナがあり、プロバスケットボールチームが拠点としているところ
- ・陸上競技場をはじめスポーツ施設が充実しており、スポーツのまちとなっている

② 情報発信について

- ・OTAマガジン等の情報誌では、各紹介ページでQRコードを掲載して、より詳細なページが閲覧できるようにする
- ・若い世代には、情報誌よりもSNSが届きやすい。市民ライターのように、若者達にSNS投稿を依頼して運営する
- ・群馬クレインサンダーズの選手が流行りの音源で踊る動画をSNSで投稿
- ・SNSでは静止画ではなくて、実際に人が食事をしたり、現場に行くような動画のほうが目にとまる
- ・市民向けと市外の人向けでわけた情報発信をする

③ ブランド力について

- ・歴史や文化をしれる場所の整備
- ・スポーツのまちのイメージがあるから、そこをブランディングする
- ・太田駅構内に大型ビジョンでスポーツのPR動画を流す
- ・いちごをブランド化できるのではないか
- ・群馬クレインサンダーズ＝太田市をアピールしていく、現在は＝になっている感覚が弱い
- ・金山から富士山が見えること

「文化・芸術振興について」

(合唱、オーケストラ、吹奏楽、美術等)

■サブテーマ

- ① 芸術に触れる機会の創出について
- ② 次世代育成
- ③ 文化・芸術による太田市の魅力向上

■参加議員

【司会進行】木村浩明

【Aテーブル】◎矢部伸幸 高木きよし 岩瀬僚 木村浩明（委員長）

【Bテーブル】◎松浦武志 水野正己 神谷大輔 谷之木勇作（副委員長）

※ ◎はテーブルリーダー

■参加者からの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

【Aテーブル】

- ・文化財を直すための助成金が文化庁が出しており、文化財を利用して訪問者を増やす活動をしているが、文化財を直す取り組みに、行政が前向きでない。
- ・行政団体、社会教育センターに登録した音楽サークルの告知など、市広報誌に載せてもらえない。
- ・博物館や埴輪を見られる場所を作ってほしい。
- ・AIを活用した展示、ガイドンスを作る
- ・古墳を巡るスタンプラリーに参加したが、個人ではなく集団で参加したい。
- ・実際にふれる機会がないと、伝統芸能を観に行きたいと思えない。
- ・チケットックで発信していくことで、きっかけを得る。
- ・太田イオンの広場で見ると興味をもつ。
- ・金山から見える夜景をSNSで発信
- ・地域の回覧板にパンフレットを挟む
- ・小学校で校外学習
- ・呑龍様、焼きそば、小玉スイカ、蛇センター、新田義貞

【Bテーブル】

- ・学校教育で接する機会やプロに接する機会をつくる。
- ・学校教育の硬直化からの脱却、部活動の見直し、新たな学習スタイルで次世代育成につなげる。

- ・課題を与える授業に刺激を受け、地元を研究した。
- ・館林では第九を学年全員で歌う、カルピスホールで合唱。
- ・太田の広報はイベントにつき一回しか掲載しない。
- ・案内を目に付きやすくすべき、インスタティックトック等。
- ・学校教育で進めるべき
- ・太田ふれあいコンサート積極的に巻き込んでいくべき
- ・太田フレックス高校では、劇団の先生を招き、授業で演劇する。プロの指導を受けることで、関心が高まる。
- ・足利では小学校の時に田植え体験⇒小さいころに経験すると成長していく中でも、経験を失わない。
- ・館林では部活動の地域移行、土日撤廃。教員の負担軽減により、新たな学習の機会を模索し次世代育成。
- ・コロナ禍ではリコーダーが無くなった。
- ・第九への参加は貴重な体験。
- ・足利南高校では、地域研究を通じて刺激を受けた。
- ・情報発信力が重要。今の若者は字を読まない。印象的な写真を使うなどインパクトが大事。
- ・館林では小学校で八木節の発表会があった。

「健康寿命の延伸について」

■サブテーマ

- ① 高齢者向け e スポーツ
- ② 歩く楽しさを知ろう（わくポ）
- ③ 健康マージャンの活用

■参加議員

【司会進行】前田純也

【Aテーブル】◎久保田俊 山田隆史 清水梨花 前田純也（委員長）

【Bテーブル】◎渡辺謙一郎 松川翼 高野博善（副委員長）

※ ◎はテーブルリーダー

■テーブルごとの主な意見

【Aテーブル】

①高齢者向け e スポーツについて

- ・介護施設側として、行政から推奨されても医学的メリットなどの実証データが乏しく利用者への説明が難しい。レースゲームが実際の一般道での運転に役立つと実感できない。
- ・介護施設で取り入れても、毎日行くと働く側の負担増となる。費用対効果を疑問視している。（行政側が費用と人材を負担してくれればありがたい）
- ・指先や頭を使うので、認知症の予防には役立ちそうであるなど、心身の活性化は得られそうだと感じている。
- ・子供や孫など、世代間交流の活性化にはつながると感じる。
- ・TV ゲームに馴染みのない高齢者にとっては、操作法が難しく、体験しても継続する人は少ない。
- ・後期高齢者になってからではなく、もう少し若い頃から経験があればやりやすいのでは？
- ・スマホなどの小さな画面でプレイすると目を悪くしてしまうなど、健康面のデメリットが心配。
- ・対戦型であるなど他者とのコミュニケーションがはかれるものは良いが、一人で集中してしまいがち。もっと和気藹々としたものであれば良い。
- ・太鼓を叩くなど体を動かすTVゲームもあるが、それはTVゲームでなくてもできる。体を動かす遊びをTVゲームで行う必然性が今ひとつ理解できない。
- ・eスポーツを取り入れるかどうかは各自の相性次第。実際の運動よりはハードルが低く、リスクも少ないため、コミュニケーション活性化のきっかけの一つになれば有効。結果として体と心を動かすことにつながるものなら推奨し続ける意味はあ

る。

- ・健康寿命の延伸に有効なものの一つであるということは理解できた。

②歩く楽しさを知ろう（わくポ）

- ・太田市の65歳以上の人口は5万8000人だが、1月中旬現在での登録者は1859人に過ぎない。周知が足りないのでは？
- ・勧められても健康アプリに関心がない。スマホにダウンロードや設定をするのが難しい。家族に聞くと面倒がられる。
- ・自分のやったことがわずかでもお金（同義のポイント）になって返ってくるのは良い。
- ・毎日よく歩いている人は多いが周知されていない。マイナンバーの登録や更新の時に案内をしてみても？
- ・アプリのDLや登録のサポートを行政センターがやってくれれば良い。オタコのアプリは市役所でやってくれた。
- ・今日まで存在を知らなかった。よく見ると広報誌には載っているが、もっと広く告知してほしい。
- ・歩数のランキングがでるのは面白い。上位は70代以上がほとんどで、そういうのを見ると刺激にはなる。
- ・もっと広く知ってもらうことが大事。利用者を増やすための取り組みの強化が求められる。登録時のサポートも重要な課題。
- ・「たくさん歩けば、肥満などを気にせず好きなものが食べられる」という感じでメリットをアピールしてほしい。
- ・介護施設では熱や血圧を測るだけでもポイントがもらえるのに、利用しないのはもったいないので、介護施設との連携を強めて取り組んでほしい。

③健康マージャンの活用

- ・行政センターでは結構やっつるのを見かける。週に1～2回。女性のための会もあり一部で定着しているイメージ。
- ・誘われたことがあり、他の地区の行政センターと交流してやっつるのを知っている。
- ・座りっぱなしなので、1時間ぐらい経ったら体をほぐす必要がある。
- ・マージャンのルールを理解していないと教えられない。若い世代はマージャン未経験者が多い。
- ・マージャンは賭けないと面白くない。
- ・他の自治体ではスポレクに入ってるところもあり、そういうイベントのコンテンツになれば良い。

【まとめ】

- ・健康寿命はデジタル化するのが難しいが、ゲームやアプリ、マージャンなど様々な選択肢が発展していく時代の中で、何を取り入れるにしても「人との関わり」を重要視することが大事。

- ・自宅から外出をしてコミュニケーションをとることの重要性が確認できた。外へ出れば身だしなみにも気を遣うなど、意欲が衰えにくくなるはず。
- ・普段から気になったことを互いに持ちよって討論する場、井戸端会議を途絶えさせないための取り組みが必要。たとえば遺跡まで歩いたりするイベントを企画して広報誌で募集するなどを検討してほしい。
- ・行政が主導でゲームやアプリを上手く活用することを呼びかけ、高齢者が多くの人と関わり合える環境を整えていく。行政がどういう手助けをすればそれが広がるのか考えてほしい。

【B テーブル】

①高齢者向け e スポーツについて

- ・若い世代からの提案としては、AI や VR も駆使してゲームの世界観を広げると、関心を抱いてもらいやすくなると思う。クラブチームを作って外部との交流を深めるなど。
- ・e スポーツの健康寿命延伸効果についての実証データがほしい。目の負担や、座りっぱなしになることで起こりうるリスクが心配されるので、その点についての知見も知りたい。
- ・施設側としては、持病をもっている人にはどのように配慮すれば良いのか戸惑う。行政から様々なケースを想定した指導があればありがたい。
- ・実証データが乏しいからこそ、無理のない範囲でなるべく多くの人に参加してもらいたい。実際にやってもらいながら検証していけばデータが増える。最初のきっかけは行政がやっていただき、その後は自走的にやっていくのが理想的。
- ・TV ゲームに馴染めなかったとしても、外出の機会を増やしたり、新しいものに挑戦することでコミュニケーションが広がる効果は理解できる。

②歩く楽しさを知ろう（わくポ）

- ・1日あたりの歩数などの数字を追求することは、本当の健康効果は得られない。歩く前に、まずは身体の基本動作を見直すことのほうがはるかに重要であると指摘したい。立ち姿や歩き方などに悪い癖がある場合、それを修正して歩かないと足腰を痛めるリスクが高まり、むしろ歩けば歩くほど健康を害することになってしまう。アプリを使う前に姿勢のチェックや矯正を行う教室を開き、正しい歩き方を理解し身につけた上で取り組まないと本末転倒である。
- ・ポイントが貯まって嬉しい人は居るかも知れないが、個人的にポイントはアプリを使うモチベーションにならない。
- ・外出の機会を増やすことを狙う意味では、移動するだけでもポイントがつくようにすれば良い。
- ・スマホは日常的に使っているが、アプリを入れたり使ったりすることは苦手で、できればやりたくない。
- ・サンダーズを活かしてバスケ観戦と連携するなど、エンタメ要素を増やせばもっと

楽しめるのではないか。

- ・介護サービス系の市の担当課に健康増進に関する専門家がいてほしい。
- ・こうしたアプリなど、様々な取り組みをやってはいるが、行政側と高齢者の距離が離れているように感じる。最近は敬老会の扱いが軽んじられているようにも感じるなど、高齢者の心に寄り添う姿勢があまり感じられない。

③健康マージャンの活用

- ・好きでやり続けている人たちがいることは知っている。ゲームやアプリより馴染みやすい人は多いかも。
- ・悪くはないと思うが、例えばラジオ体操など、物品や部屋がなくても出来ることをすすめてほしい。

【まとめ】

- ・公務員になるための専門学校に通っていることで、現場の生の声を聞くことができ、有意義だった。現場の実態がわかってこれまでにはない気づきがあった。
- ・若者と高齢者、世代の差を超えて話し合う機会は大変貴重だった。
- ・ゲームやアプリ、麻雀も良いが、もっと身体を動かしたり歌ったり、楽しくおしゃべりができるような場、環境を整えてほしい。
- ・集会所があまり活用されていないと感じることもあるが、行政センターを行政と住民との架け橋とするべく、もっと活かしてほしい。血管年齢などの自分の健康データが簡単に測れる場であってほしい。
- ・高齢者のことを気にかけてくれる民生委員のなり手不足問題を少しでも解消してほしい。

「太田市の観光戦略について」

■サブテーマ

- ① 太田っていいね！観光資源の再発見
- ② 太田の魅力をどう伝える？あなたが考える観光プロモーション
- ③ 観光を起点とした地域の稼ぐ力の強化

■参加議員

【司会進行】高田靖

【Aテーブル】◎八長孝之 高橋えみ 高田靖（委員長）

【Bテーブル】◎白石さと子 山水めぐみ 尾内謙一 若林卓実（副委員長）

※ ◎はテーブルリーダー

■参加者からの主な意見【テーブルリーダーの報告より】

【Aテーブル】

- ・効率を求めるだけでなく、時には無駄のあるバスツアーの企画があっても良いのではないか。
- ・観光の軸となるものを決めた上での観光組織作りが大切である。
- ・文化財の整備や歴史のPRを推進していくべきである。
- ・他自治体のように、太田市にも観光大使やミス太田をおくべきである。
- ・東日本最大の天神山古墳の整備とPR、特に「武人埴輪」の出土は太田市の誇れる財産であり、本物を太田市に誘致して大々的にPRすべきである。
- ・そもそも太田市はあまり観光に対して価値を見出せていないのではないか、太田市内だけでなく市外や県外から来る方々のことも考えて、公共交通のあり方なども併せて検討すべきである。
- ・観光＝祭りになっており、史跡には注目していない。「はにわ」をマスコットキャラクターに位置付けてPRできると良いのではないか。

【Bテーブル】

- ・太田は歴史全体の力が足りない。館林は計画を立て、伊勢崎市も10年の計画を立てた。太田も協議会等作って計画立てて整えていく必要があると感じる。
- ・千姫の大河ドラマの運動もしているのであれば歴史の見直しをしても良いのではないか。
- ・天神山古墳にまともな駐車場もなく、高崎や前橋に比べると整っていない。全体の見直しが必要ではないか。
- ・群馬クレインサンダーズの試合の前などに早めに来てもらって観光バスで太田市

内の名所を周ってもらえるツアーがあると良いのではないか。

- 市内に宿泊施設が少ないので拡充していくべきである。
- バスケットのプロ選手だけでなく、市民にも積極的に SNS や動画サイトを利用して発信してもらえれば、太田市の PR につながるのではないか。

令和8年1月17日
当日の様子
(オープニング)



①シティプロモーションについて
～教えて！我がまち自慢！～



②文化・芸術振興について
(合唱、オーケストラ、吹奏楽、美術等)



①シティプロモーションについて



②文化・芸術振興について



③健康寿命の延伸について



④太田市の観光戦略について



開かれた議会を目指して
令和7年度
議会報告会・意見交換会



③健康寿命の延伸について



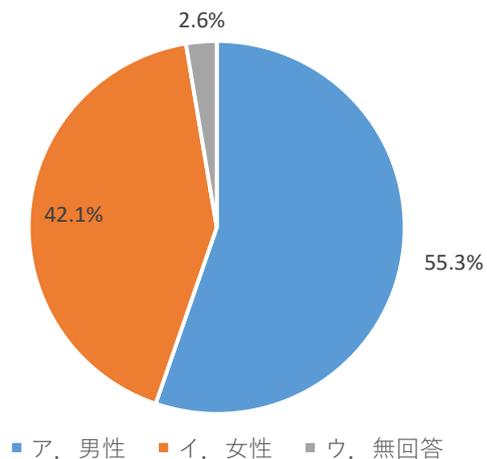
④太田市の観光戦略について



令和7年度 議会報告会・意見交換会 参加者アンケートの集計結果

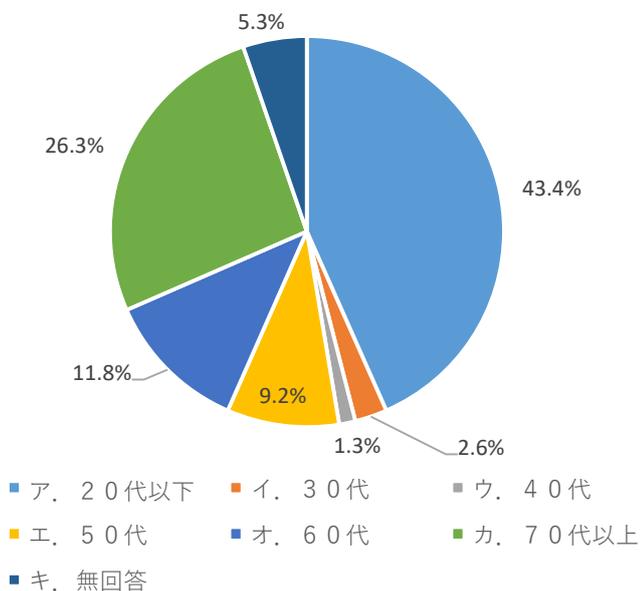
1. 性別

ア. 男性	42
イ. 女性	32
ウ. 無回答	2



2. 年齢

ア. 20代以下	33
イ. 30代	2
ウ. 40代	1
エ. 50代	7
オ. 60代	9
カ. 70代以上	20
キ. 無回答	4



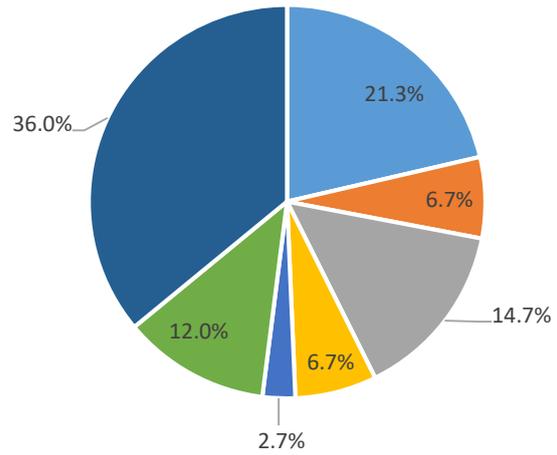
3. お住いの地域

太田	7
九合	10
沢野	4
葦川	6
鳥之郷	3
強戸	0
休泊	1
宝泉	3
毛里田	4
新田	5
尾島	5
藪塚	1
市外	11
県外	14
無回答	2

4. 意見交換会をどのように知りましたか。

※複数回答あり

ア. 市議会だより	16
イ. 行政センターだより	5
ウ. チラシ	11
エ. 市議会ホームページ	5
オ. 広報課X	2
カ. 議員の紹介	9
キ. その他	27
市の担当課・市の団体より	(5)
知人より	(2)
学校より	(20)

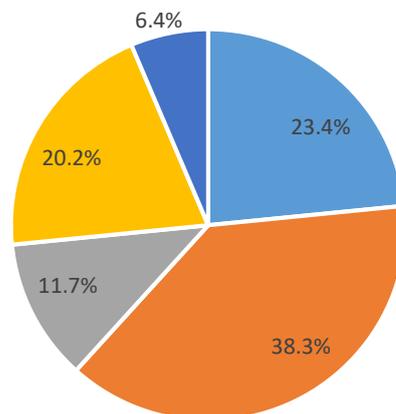


- ア. 市議会だより
- イ. 行政センターだより
- ウ. チラシ
- エ. 市議会ホームページ
- オ. 広報課X
- カ. 議員の紹介
- キ. その他

5. 意見交換会への参加を決めた理由。

※複数回答あり

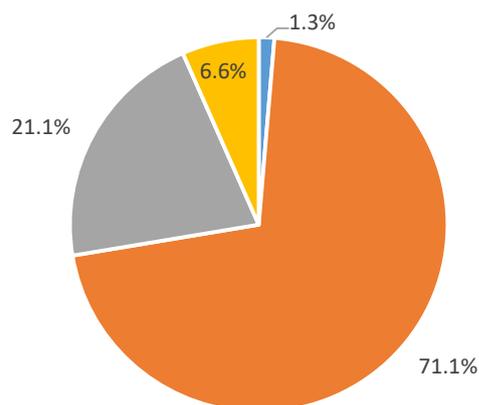
ア. 行政に参加したかった	22
イ. テーマに関心があった	36
ウ. 発言したい意見があった	11
エ. 議員と意見交換をしたかった	19
オ. その他	6
(その他の理由)	
・ 学校	
・ 知人に誘われて	
・ 話を聞いてみたかった	
・ 太田について年上の方がどう思っているのか興味があった	
・ 面白そうだったので	
・ 協力してほしいと言われた	
・ 無回答	



- ア. 行政に参加したかった
- イ. テーマに関心があった
- ウ. 発言したい意見があった
- エ. 議員と意見交換をしたかった
- オ. その他

6. グループディスカッションの時間について。

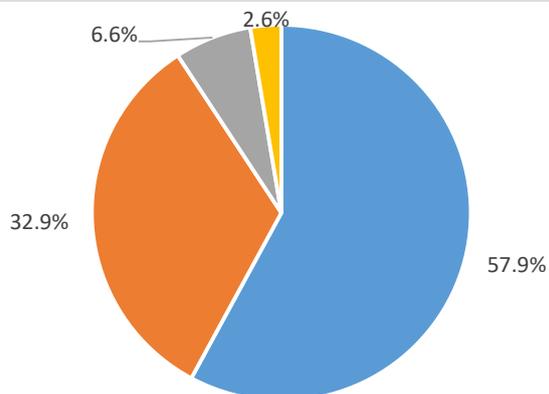
ア. 長い	1
イ. 妥当	54
ウ. 短い	16
エ. 無回答	5



■ ア. 長い ■ イ. 妥当 ■ ウ. 短い ■ エ. 無回答

7. グループディスカッションの満足度について。

ア. 満足	44
イ. 普通	25
ウ. 不満	5
エ. 無回答	2



■ ア. 満足 ■ イ. 普通 ■ ウ. 不満 ■ エ. 無回答

8. グループディスカッションの回答理由について。

■ 満足の理由

- ・ 色々な年代の人の意見を聞いて勉強になりました。
- ・ 今回初めて参加しましたが皆さんの意見を聞き参考になったことがあり、実行してみたいこともありました。
- ・ 高齢者の方々の話を聞く機会は今までなかったので、たくさんの意見を聞いて良かったです。
- ・ 意見が言えて良かった。
- ・ 老若男女の垣根を越えた意見交流ができたから。
- ・ 全体の意見が出ていて良かった。
- ・ 自分の意見をしっかり言えたから。
- ・ 他の人と話す事、若い人の話をきくとためになる。

- ・ 皆が今の太田をどういう風を感じているかを聞くことができたから。
- ・ たくさんの方の年代の意見が聞けとてもいい時間になりました。
- ・ 自分たちが考えていた意見や取り組みなどを実際に発表してみると先輩方の意見をたくさん聞くことができとても勉強になりました。
- ・ 多くの意見が聞け当事者からの話をたくさん聞いたので良かったです。
- ・ テーマの高齢者について生の貴重な意見をきくことができ非常に勉強になった。
- ・ いろいろ意見が聞けたこと！たくさんのお話がきけて楽しかった。
- ・ あまり接点のない方々の意見を聞いて有意義でした。
- ・ 円滑に意見交換をできて良かった。とてもいい議論ができた。
- ・ 思い掛けない貴重な意見を聞いた。（若い世代の）
- ・ それぞれの意見交換ができ、今後も太田市の魅力が向上していけば嬉しいです。
- ・ 自分とは歳の離れた方々のご意見がとても新鮮で楽しかったです。
- ・ ディスカッションがどうなるか不安だったが、ちゃんと意見を言えたので満足。
- ・ 世代を超えた意見が聞けた。色々な方の話がきけてためになりました。
- ・ たくさん意見を聞かせて頂き、希望を感じました。
- ・ 太田市についてより知ることができて、大好きな太田市をPRするための意見交換をできてよかったです。
- ・ 様々な事業の方から多方向の意見を聞くことができたため。
- ・ 新しい考えがありました。勉強になりました。楽しかった。
- ・ 話す内容がサブテーマで絞られてよかった。
- ・ 太田市の魅力に気づけた。
- ・ 太田のことを深く調べたいと思いました。
- ・ 小グループでディスカッションする時間が十分あった。
- ・ 太田市の知らないことについて知ることが出来たので、参加して良かった。
- ・ 緊張していましたがとても話しやすい雰囲気の良い経験ができたからです。
- ・ 関心のあるテーマを取り上げて頂き活用の方向性を共有できた。
- ・ 言いたいことが言えていろいろ知ることができた。
- ・ こういう機会が今までなかったので新たな考え方を知れた。
- ・ それぞれの立場や環境によって事情があることを改めて理解する機会となった。

■不満の理由

- ・ 時間が短く、核心に至らない。議論にならない。
- ・ 意見発表だけでディスカッションは無理。メンバーの選抜・検討が必要。
- ・ 会議の進行がいまひとつ。
- ・ サブテーマについて、参加が決まってから知った。
- ・ サブテーマでなく、メインテーマの内容をやるべき。
- ・ 参加者の皆さんの意識が高い。

9. 今後、グループディスカッションで取り上げたいテーマ。

- ・ 文化について。文化振興の予算について。
- ・ 若者育成。
- ・ 健康について。高齢者と学生の間はどう文化を知っていくのか。
- ・ 観光地や文化について。
- ・ eスポーツ。
- ・ プロスポーツを活かした街づくり。
- ・ 認知症の対策について若い世代がやるべきこと。
- ・ 史跡公園について。
- ・ なかま作り。
- ・ 福祉分別。
- ・ 人が集まれる太田イオンなど。
- ・ 太田市のPR方法について。
- ・ 太田市の自然的な環境整備について。
- ・ 議員の定数の見直し。
- ・ 地域開発を市が中心となって流通団地を進めていく方策について。
- ・ 市として今後推し進めるならばなにか？
- ・ 市政、市の組織をベースにした検討。
- ・ 交通を中心としたインフラ整備。

10. 市議会に関するご意見等。

- ・ 市全体の観光戦略の立案、3本の柱を作る。
- ・ 今回の活動のようなものが他にもあるのなら、HPだけでなく学校などにも告知するなどがあればいいと思います。
- ・ 住民の「生の声」を聞いてほしい。市民の声を聞く場を作るべき。
- ・ このような機会があると身近に感じます。
「半年に1回の開催」をご検討頂きたい。
- ・ 参加者から寄せられた意見・提案のフィードバックをお願いしたい。
- ・ もっと議員さんと近く接する場があればと思います。
- ・ 今後のSNS活動。現状でも良くやっているが、今以上の発信をして欲しい。
- ・ 太田市のアプリを作ってほしい。多くの人が自由に投稿できる場になる。
- ・ 健康寿命は他市と比較し毎回芳しくない。議会で施策を。広報に掲載を。
- ・ 予算がないのではなく、作っていくことで実現をお願いしたい。
- ・ 今後高齢者に対する政策をどのようなことをするのか期待したい。
- ・ 市長が変わったので、よく調整ををすべき。議会の役目が重要。
- ・ 学校の授業やイベントを増やす。
- ・ 健康推進などに専門知識がある人を置くことは良いと思いました。